

令和6年度 行政改革審議会（外部評価） 議事録要旨

日 時	令和6年11月15日（金）午後1時30分～3時40分	
場 所	市役所 災害対策本部室	
出席者	委 員	（グループリーダー）齊藤由里恵、赤木禎行、小山敦、斉藤直基、寺田覚
	担当課	【観光案内所運営事業】 商工課長、商業観光係長兼務課長補佐 【部活動（運動部）地域移行と地域スポーツ指導者の育成】 スポーツ課長、スポーツ振興係長兼務補佐
	事務局	経営管理課長、経営管理課課長補佐、経営管理課（行革・経営係長、橋本専門主査、中川専門主査、岩井主事）
次 第	1 経営管理課長あいさつ 2 外部評価の進め方について 3 外部評価 （1）観光案内所運営事業 （2）部活動（運動部）地域移行と地域スポーツ指導者の育成 4 振り返り	

1 経営管理課長あいさつ

2 外部評価の進め方について

（事務局説明）

3 外部評価

（1）観光案内所運営事業

・委員

どうぞよろしくお願いいたします。それでは1行目の観光案内所運営事業を始めたいと思います。事業説明は10分以内でどうぞよろしくお願いいたします。

（商工課説明）

・委員

ただ今のご説明に対しまして、皆さんからの質問の時間に入りたいと思います。どなたからでも結構でございますので、ご質問のある方は挙手にてお願いいたします。

・委員

もう一度確認をさせていただきたいのですが、元々観光客に対する施設であり、コロナ禍前はコワーキングスペースとしても活用されていたと。今の段階

で観光客にプラスして、安城市民にも、さらに観光地として魅力のあるような安城市を発信するために、安城の市民の方にもご利用いただきたいということで、こちらを拡充していきたいという意図でお間違いないでしょうか。

- ・ 商工課

はい。拡充ということで言われておりますが、私どもは拡充というよりも有効活用を図っていきたいと考えております。駅前の一等地でやはり人目に付きやすいというか、注目をされやすい場所ですので、やはり有効に使ってなんぼだということで、たくさんの市民の方に訪れていただいて、せっかくの駅前の機能、ここで車を待ってもらったり、あるいは電車を待ってもらったりだとかで使ってもらう。その際に、何らか安城市について興味を持ってもらうことに繋がることを考えております。

- ・ 委員

イメージとしては休憩所、市民が使える“駅の休憩所”のようなイメージを持っているということでありました。ということは、旧コワーキングスペースで七夕まつりの色々な展示をするによって、フリーの時間にいろんなことを知っていただくということなののでしょうか。

- ・ 商工課

そうですね、この旧コワーキングだったスペースを活用して、もう既に観光の展示を行っておりますが、こういったところを工夫しまして、体験できるブースであったり、より市民の興味関心を引くような展示をすることで、駅前で安城市をより深く知ってもらうきっかけになればと思っております。

- ・ 委員

長年、「キーポート」という名前には親しんでいますが、“観光案内所”ということはあんまり意識してなかったです。中に入っている施設が本屋から事務所というかコワーキングスペースに変わって、今は観光案内所で、時々駅前に車を停めて中に入りますが、平日の夕方は学生で結構いっぱいです。ただ、外部から土日に観光客が来ますが、駅前の動線があまりよろしくなくて、ほとんど「キーポート」の傍の階段を通る人はいないですね。利用する人が本当に少ないなと思います。やはり外部の方にどんなことをやっているかという認知度を高めていけばいいのではないかと思います。JRに乗るために急ぎ足で来て、

ほとんどが通過する。帰りは自転車置場の方か、あるいはデッキの上を歩いて早く帰りたい。なぜかという、出来るだけ早く帰ればバスで帰れるわけですね。本屋があった時代は、たまに時間があつたりすると寄った記憶もありますが、今のシステムだと、ほとんど寄る人がいることはないような感じ、魅力がないような感じがします。ですので、魅力ある施設として、当然どうしても観光の目玉を探さないといけないとは思いますが、やはり魅力あることを考えていったらいいかと思っています。ぜひ頑張ってください。

- ・ 委員

もう一度確認ですが、先ほどのご説明の中では、この場所を有効利用したいと。タイトルが観光案内所ということで、私は観光案内所として拡充といいますか、今後どうしていくのかなとイメージしたのですが、今のお話ですと観光案内所ではなくて、いかにここを有効利用していくかという議論でいいですね。ちょっとニュアンスが違っていたものですから。

- ・ 商工課

やはり、まず観光案内所ですので、ここの本分は、当然、観光案内ということでそこは間違いないということになります。そして、年間の今の利用者の数はおおよそ5万人ございます。ところが、この中で実際に観光案内として利用される方というのは、数%ということで、現実としては、看板は“観光案内所”がありますが、実態としてはなかなかそうではない実情もあります。やはり私どもの立地であつたり、安城という町の性格から、観光地のような観光案内所というのは、やはり現実的ではないなと考えております。しかしながら、こういった情報発信することというのは、観光地と違って大手出版社の情報誌といったものは決して作れないわけで、私達が発信していくことで、安城に来てもらって知ってもらふというところに繋がたいと思っております。その中で、旧来私達が運営してまいりましたこのキーポートをより積極的に有効に活用していくことで、あわせて観光客の増加に繋がればと考えています。

- ・ 委員

もう一つ、根っこの話を聞いておきたいのですが。「観光協会」というのが安城市にあると思うのですが、「安城市の観光協会」で検索すると、このキーポートの中にあるというニュアンスの説明がされています。そういう認識じゃないのでしょうか。それちょっと違うのでしょうか。「観光協会」というのはあるの

でしょうか。

- ・商工課

安城市の観光協会は任意団体として組織されておりまして、事務局は市の商工課が担っております。観光協会としての実態、事務所は、事務局を商工課でやっておりますので、別途あるわけではないのですが、このキーポートについては観光協会、まず市から観光協会に運営委託をされておりまして、そこから再委託の形で、市内のまち作り会社の方に委託をして営業をしていただいている状況です。

- ・委員

わかりました。私は全国に仕事で行った時も、空き時間に観光案内所をものすごく使います。これは無くてはならない存在で、観光客若しくは出張客、いろんな方がいる。ですので、ここは必ず伸ばすという前提でお願いをしたい。それから、有効利用するというのは、それを軸に、その関係をどうやって伸ばしていくか、地域イベントやイベント情報とか何かを合わせて、いかにアライアンスを組んで前に進めさせるかが大事だと思います。

実は、先日私はキーポートにお邪魔して来まして、少しヒアリングをしてきました。私が聞いたかったのは、安城市、特にアンフォーレとは連携をどうやっているのですかと聞きました。私としては満足のいく回答ではなかった。それは「上の方は」という言葉が使われたのですが、経営されている方が連携をされているし、打ち合わせをしている、スタッフのところには紙が来るくらいで、連携がうまく出来ていないのかなと思いました。その辺も改善していただけたらなと思いました。以上です。

- ・商工課

ご意見ありがとうございます。アンフォーレの中に図書情報館がありまして、キーポートで図書の貸出、返却を実施しており、現状でも部分的な連携は出来ているのですが、ご指摘のように、そういった意識というものはより高めていかなければならないと思います。今後、そういったことも含めて検討してまいりたいと思います。

- ・委員

よろしくお願いします。事前に観光案内所について質問を出させていただい

たのですが、“観光案内所”として賑わうことが理想かと思いますので、その中で市民の方が多く訪れるような企画を進めていくというのは良い案かと思います。ただ、この論点の中にある、「安城市民の方が観光資源を知り」といったことは、市民の方であれば十分知っているだろうと想像しましたので、ここで指しているものはどういったことなのか。どうやって誘客をするのかということイメージしているか、ということをもっとお尋ねしたいです。

あとは、先ほどから観光案内所としてもまだ改善ができる余地が色々あるのだと思いました。私自身も訪れましたが、駅から降りた方が案内所がどこにあるのかといったことはわかりにくい。なかなか知られていないということかなと思いますので、そちらについてPRすることもあるかなと思います。観光資源として最初にイメージするのは、デンパークを思い浮かべるのですが、そちらにJRを利用して来られた方のアクセスが非常にわかりにくいというか、悪いというか。所管が違うかもしれませんが、こういったところで観光資源自体も活性化するという活動が、観光客あるいは観光案内所を訪れる方を増えることに繋がるのではないかなと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

・商工課

観光案内所への案内が、というご指摘ですが、こちらにつきましてはただ今JR側と協議をしております、改札を出た方の目が止まるような場所に“観光案内所”という看板を何とか掲示ができないかということで考えているところです。

市民であれば観光資源を既に知っているだろうことですが、私も生まれてずっと安城市に住んでいるわけですが、名前は聞いたことはあっても、人に紹介できるかという、実はそこまでではないと。また、家族に聞かしてもやっぱりその程度なんですね。やはり自分の町にあるとはいえ、市民の方が、どこかに行った際に紹介するためにもう少し知ってもらえればと思っています。そういった、名前だけではない、そこに繋がるストーリーの紹介であったり、観光案内所で土産品を売っていますので、名所の難しい話はちょっと苦手だなという方には、土産品の作っている方のコメントであったりとか由来だったりとか紹介できれば、それを一つ手に取るだけでも興味関心も変わりますし、感じ方も多分変わるとしています。ですので、地元の観光案内所だからこそ、何気に通ってしまふようなところをちょっと深掘りして紹介してやっていきたいなと考えています。

- ・商工課

一点、少し補足をさせていただきますと、昨年、一昨年、皆様ご存知だと思いますが、大河ドラマで「どうする家康」というドラマの関係で安城市の本證寺というところが舞台になって、NHKで放映されています。それで、かなり多くの大河ドラマのファンであったり、もちろん市民の方も、それに伴って本證寺のバスツアー等も企画をして実施したのですが、そこに参加された市民の方のアンケートを見ますと、本證寺は比較的安城市の南の方に位置するのですが、安城の北の方のから来た方からすると、「もう本證寺という存在すら知らなかった」というご意見もいただいております。もちろん、こちらのキーポートだけでそういった情報が全て補完できるわけではありませんが、様々なツールを使って、市民に対しての観光情報の発信を併せて行っていきたいと考えています。

- ・委員

質問します。図書館の図書の予約とか返却をキーポートでやっているということですが、これは元々アンフォーレに指定管理者が一緒だったからやりやすくやっておられるんですね。今は指定管理者が変わりましたから、これを続ける意味はあるのでしょうか。

それから、22時頃まで営業しているということですが、観光案内所としては一般の9時から17時でよろしいのではないのでしょうか、コワーキングもやめたことですし。17時とはいいいませんが、営業時間を少し見直したらどうかというのが一点です。

あと、店に入ろうとすると、用品店か土産物屋みたいな感じで見えるものですから、キーポート自体を知らない方は、なかなか入りづらい。観光案内所としてのぼり旗が一本くらいしかないものですから、入りづらいと思います。はっきり言いますと、その土産物店を拡大していったらどうでしょうか。安城の名産はたくさんありますから、もう少しこの店を安城の帰りに土産物店として、店舗を拡大して広げていったらしっかり集客あるという気がしますし、欲しいものを手に入れば、今後また安城に行きたいなということがあるのではないかなという気がします。

あと1点。Wi-Fiサービスとか各種展示をやられておりますが、さっき土産物店の拡大と言いましたが、集客するようなことをこれから検討していただきたいなと思います。以上です。

・ 商工課

営業時間につきましては、言われるように、かつてのコワーキングが遅くまでやっていましたので、その名残といたしますか、そういった関係で他市の観光案内所と比べても、やっぱり営業時間が少し後ろにずれているとは感じておりますので、見直していきたいと思います。

それから店舗の土産品コーナーの拡大ですが、ここはお客さんが来るから売れるのか、売れるからお客さんが来るのか、ちょっとその辺は難しいですが、ここは運営者と相談しまして検討していきたいと思います。

・ 委員

2つくらい質問させていただきます。まず、事業費ですが、委託料に関しては、これは観光協会に委託しているという理解でいいのでしょうか。

もう一つ、使用料および賃借料ですが、J R 東海にお支払いする賃料ということでもいいのでしょうか。また、それぞれ年度によって少し差が出るというのは何かあるのでしょうか。令和3年度の途中から始まったということなのでしょうか。ここをどのように見ればいいのかということをまず教えてください。

・ 商工課

委託料ですが、言われるように、こちらは安城市観光協会への委託料です。それから、使用料と賃借料につきましても、若干警備会社の費用がありますが、ほとんどはJ R への賃料です。

それから、年度のバランスですが、こちらにつきましては令和3年度まではコワーキング併設だったということで、実は「ビジネス支援事業」の方からもこのキーポートの管理の費用を支出しておりました。それが、令和3年度いっぱいではコワーキングスペースがなくなり、ここの運営に関する費用が全て「観光案内所運営事業」となった関係で、費用が増えているということになります。

それから、令和4年度と今年度の高低ですが、こちらは令和4年度に修繕料の計上があります。これはコワーキング部分の内装を一部手直した費用が掛かったということで、令和4年度についてはこの金額が上乗せされているという状況です。

・ 委員

ありがとうございます。観光協会には、ここの場所に対しての委託なのでしょうか。それとも、他の事業、ホームページなんかも持っていると思うのです

が、そういうところも含めた総合的な委託と考えられるのでしょうか。

- ・商工課

観光協会は、安城市がそういった費用を負担して観光協会が活動しているのですが、この費用は観光案内所を運営する費用ということです。

- ・委員

おそらくその他にも掛かっているのだと思いますが、令和5年度は総額で2267万円とかなり掛かっていて、これを有効活用したいということについては私も納得するところです。有効活用をするに当たっては、「有効」ということをどのように考えるのか。例えば、ここに見合った経費をペイできるような収益性を上げるといった観点も一つだと思いますし、また満足度を高めていくといったことも一つだと思います。ですので、「有効」といったときに、何を目指していくのかということがはっきりしないのかなと思われるところがありました。だからこそ、この事業自体、観光の案内が必要なのか、場所が必要なのかという、両方とも何かしら必要だということだと思いますが、ご説明が少し足りないかなと思いました。

あと、何を、どこを目指すかというところがわかりにくいというのか、難しいところかなと私自身感じました。他の委員から出ていたアンフォーレですが、私はたまに寄ったりするのですが、そこにも高校生で電車を待っているのかなとか、時間調整しているのかな、一緒に勉強しているのかなといった姿も見られて、今回ここでの質問の回答にもありましたが、時間調整的な感じでも使われていると。例えば、アンフォーレがいっぱいだったからこっちへ行こう、という人もいるかもしれないし、ここを使う人のニーズがどこにあるのかをきちんと調査した上で、次の展開にいつて欲しいなと思いました。

他に何かご意見ありますでしょうか。

- ・商工課

今、委員の方からご指摘をいただきましたとおり、観光という分野については、なかなか定量的な効果はなかなか見えにくいところです。それで我々としては、そうは言っても観光情報の発信を充実に手をこまねいているわけにもいきません。せつかく今、こういった施設をJRからお借りして運営することが出来ておりますので、繰り返しになってしまうのですが、まずはこちらの施設に来ていただいて、そこで様々な観光情報であったりとか、他の委員さん

からもご意見ありましたように、土産物だとかいったものも目に触れていただき、手に取っていただき、それを観光の振興に繋げていきたいと考えています。

・委員

それでは、お時間となりましたので、まず評価シート①をご記入いただきたいと思います。①の方は、評価に丸を付けてください。書けた方は事務局の方にご提出をお願いします。引き続き評価シート②の方につきましてもご記入をお願いしたいと思います。皆様の方で①をご提出いただきましたら集計をしますので、その時間を利用しまして、委員の皆様から評価や提言をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

・委員

いろいろご説明いただきました。やはり、多分すごく迷っていらっしゃるのだろうなと感じました。具体性ですね、どういう風に持っていくかというイメージがなかなか具体的に伝わってこなかったのも、その部分で判断するのは難しかったのかなと思います。私は元々商工会議所から来ております。私も知らなかったのですが、観光協会の方に委託されているということでしたので、少し商工会議所の方にもしっかりと声をかけて皆様の方にご協力できるようにやってまいりたいと思います。

結論としては、「要改善」です。やはり、どういう方向性で、どの方向、金額的なのか、満足度なのかいろいろありますが、その辺りがもう少し検討が必要かなと感じました。以上です。

・委員

私の方も「要改善」として評価を出させていただきました。率直に申し上げて、なかなか観光地というイメージにはなりにくいというのがありますが、やはり一定数の観光愛好者の方を望めるのではないかと考えた場合に、観光案内所としてぜひとも続けてほしいと考えおります。その策を模索しているということかと思いますが、全体に、観光資源自体も、私どもの方でも何かしらサポートをしながら、施設の活性化を図っていただきたいと思います。

・委員

そもそも、先ほど申し上げたように、“観光案内所”というキーワードでしたので、それであれば、どこを安城のフロントといいますか、窓口にするか。と

というのは、安城駅だけじゃなくて、今新たに三河安城の方に新しい施設が出来るとか聞いております、過去には三河安城に物産コーナーがあったと聞いておりますが、そういうのも再構築していただきながら、より充実できるようにアンフォーレやデンパークといった観光資源と連携し、充実していただけたらと思います。私の評価は「要改善」という形になります。よろしくお願いします

・委員

観光案内所としてはぜひ存続していただいて、しっかりやっていただきたいと思います。私は意見に要望を書いたのですが、J R 安城駅前、例えば、他の名鉄の駅や三河安城駅には、観光案内看板はありますよと書いてありましたが、“観光案内所がある”とは書いてありません。やっぱり、安城がこれから発展するためにはある程度観光が一番発展しやすい内容だと思います。実は、私はいろんなイベントなんかも開催しておりまして、宣伝するときにキーポートにはわざわざチラシを持っていかないと、どこからも回ってこない。文化センターからは11の公民館にも回りますし、福祉センターもお願いすれば回る。教育委員会、学校でも教育委員会が回せば、みんなに回ります。そういうシステムもありますし、いろんなところでイベントをやったり、いろんな企画をやっていますが、情報がまず入ってこないのではないかなと心配しています。

安城市さんは、市長も含めてLINEやFacebookといった発信をされております。歴博でもいろいろ発信されております。観光案内所が中心となって、他の情報を吸い上げて発信できるようになれば、やはりみんな集まってくるのではないかなと思いますので、ぜひ改善していただきたいと思っています。

・委員

私からも一つ申し上げさせていただきます。私も「要改善」という評価をさせていただきました。やはり、目指す方向性をもう少し明確にされた方がいいということと、次のステップに行かれるときにはその方向性を明確にして、何を伸ばしていくのか、どういった姿をイメージして、そこに向かっていくのかというところを少し出されるといいのかなと思いますし、そういうところを精査されたいと思っています。

また、皆様からも意見がありましたけれど、いろんな連携が出来るのではというアドバイス等もいただいたかと思いますが、安城市らしさというところですよね。デンパークとか、あとは自動車関連企業がたくさんあったりとか、有

名なところもたくさんありますし、そういった安城市らしさをもう少し前面に出すっていうのもいいのかなと。今、観光というのは、必ずしも所謂観光地に来るだけではなくて、例えば岡崎市ですと、多分一番多いのが東海オンエアの聖地巡りです。私は岡崎に行くこともあるのですが、結構そのグッズを持っている方も来られていて、所謂今までの観光だけじゃなくて、いろんなところで盛り上がっていたりするのが時代の流れなのかなと思います。安城市らしさというのを出されるっていうのも良いと思いますし、また安城市に来ることだけを目的にしてここに来られる方ってそんなに多くないと思います。愛知県に来て、名古屋を巡ったりとか、長久手の方に行ったりとか。そういう中で安城を回るということもあることもあろうかと思います。そういった広域連携みたいなところも、うまく安城市からも発信していくことも必要かなと思ったところ です。

それでは、皆様から意見いただきました集計結果の方を発表させていただきたい と思います。観光案内所運営事業につきましては、「要改善」が5名という ことで、評価結果は「要改善」とさせていただきます。皆様からコメント等を 沢山いただいたかと思いますので、是非反映させていただいて、「有効」といっ たところに発揮できる形に持って行っていただけたらなと思っておりますので、 どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、第1事業目、「観光案内所運営事業」につきましては以上とさせて いただきます。皆様ありがとうございました。

(2) 部活動(運動部)地域移行と地域スポーツ指導者の育成

・委員

第2事業目、「部活動(運動部)地域移行と地域スポーツ指導者の育成」にい きたいと思います。事業説明を担当から10分以内でお願いいたします。

(スポーツ課説明)

・委員

ありがとうございました。では、ただ今の説明につきまして皆様からご質問、 ご意見等を頂戴したいと思います。どなたからでも結構でございますので、あ りましたら挙手にてよろしくお願いいたします。

- ・ 委員

私どもの地域の学校や広場、一般の大人とか子供たちと一緒にやるクラブがありまして結構どちらも満員です。そこに、学校からそうした指定を受けた団体が使いたいと言った結果、今後は優先的にそちらが使うのでしょうか。それと今地域にはスポーツ推進委員がおります。毎月1回程度、地域でいろんな大会を開いていただいて本当にありがたいです。そこでは老人から子供までやれるようなスポーツをやっているのですが、そこに一つの部活が優先的に入ってくるとするのは、今後どうなるのがちょっと心配をしております。

それともう一つ。活動のスポーツ指導者養成講習会、スポーツについて必要なものをやられていますが、地域で一番大事なのはマネジメントです。他との団体との調整も含めて、いろんなマネジメントをやらないといけないということで、この辺りの内容も講習指導の中にも取り入れていただくと助かります。以上です。

- ・ スポーツ課

一つ目は場所が足りなくならないかというご心配をいただいていると思います。まずは今回、部活動の地域移行ですので、これまで学校自体の施設で部活動が行われていた土日に部活動が行われないので、そこが空いてきます。そこに地域スポーツ団体が入ってくるということで、ある程度場所の確保は今のところはできるのかなと考えております。

- ・ スポーツ課

地域の方は、どちらかというと小学校を活用していただいていると思います。ちょっと役割が違いまして、小学校は地域に開放する、地域の団体の方が使うという形でして、中学校はどちらかというと中学生の団体が使う形です。今言ったように、これから中学校の部活の活動が減るということで、この団体はどちらかというと中学校を活用するという形になってきていますので、小学校と中学校では活動が違うと考えています。ですので、この団体につきましては、ほぼ中学校を優先的に使うという形になってきます。先ほどの推進員の活動もどちらも地域の活動になるので、推進員も小学校を使っているのではないかなと思いますが、そこを侵すことはないと思います。

- ・ 委員

イメージとしては今回は中学校ですね。だから、中学生のクラブ活動の場、

先生のご事情等も含めて、指導者がいなくなる。だから、そこに地域のボランティアかわかりませんが、活動を支援する方、中学校のクラブ活動の監督さんが、指導者を受けもつイメージでいいですよね。私どもの地元では、例えば、少年野球のジュニアのライナーズというのがあって、私の孫が入っているのですが、ライナーズにいて、安城西中学校にいくともう中学校にはクラブがないので、もしうちの孫がクラブ活動をやるとしたら、西中学校のクラブチーム、ライナーズシニアチームかはわかりませんが、そこで活動するイメージでしょうか。それは野球であつたりサッカーであつたり、バスケットであつたり、基本的には同じであると。この文化クラブはまた別のところがやるというイメージですよね。安城市もその活動が完全になくなるのは令和8年ですか。

- ・スポーツ課

まずは、休日の部活動をなくそうということです。

- ・委員

平日はやるということですか。

- ・スポーツ課

平日は、またその後の検討ということで、ようやく国もそういう指針を出し始めまして、6年間を掛けてまたそういう検討しろということになってきましたので、またこの休日の様子を見て、取組を検討していく流れになります。

- ・委員

関連で申し上げますと、今まで安城市の何とか大会とか、そういうのが組織されていたと思うのですが、そういったものはどうなるのでしょうか。

- ・スポーツ課

種類がいろいろあると思いますが、学校が主催する中小大会という教育委員会が主催する大会については、いずれ方向性が変わってくると思います。どちらかというとな参加が少なくなってくる、部活動でのクラブが少なくなってくるので、そういう大会も段々と少しずつ少なくなってくる。一方、野球連盟とかサッカー協会だとか競技団体が主催する大会、そういったものに皆さん参加するようになってくる。今後主催する大会が段々と変わる形になるかなと考えています。

- ・ 委員

最後ですが、そうすると、やっぱり指導者っていうすごく大事だと思います。指導者の方が指導する濃淡というか、レベル感というか意識が全然違う。そうしたことを学校の先生方と共有といいますか、そういうのはどのように考えるのでしょうか、どこでそういう情報交換をするというか。きっと力を入れる指導者は、どんどん強いといいますか、どうしても激しくなるような方向にシフトしていくように思われる。いやそうじゃない、というようなこともあるかもしれないませんが、この辺りをどのようにするのかと思います。

- ・ スポーツ課

今、各協会が主催するライセンスというものができております。それぞれ協会ごとにライセンスを取って、指導するのに相応しい指導の仕方を勉強させる仕組みになっています。逆にライセンスを持っていないと、大会にも出ていけない状況になってきておりますので、こうした指導者がいないところは試合もできませんし、段々とそういったことはなくなってくるのかなと。ただ、それは競技団体によって異なるので、進んでいるところはそういうライセンスがあるところもあります。また、小さな競技団体はそういったものがないところもあります。ですので、そういったものがない団体には、こういう指導者養成講習会、最低の講習会の中で補完していきたいと考えています。

- ・ 委員

他はいかがでしょうか。では、私からもお願いします。少しわかりにくいところがありまして、この地域スポーツの指導者の育成に今後より一層力を入れていきたいのだと思いますが、その理由として部活動の地域移行が進んでいるということで、土日の受け皿となり得るのだらうと思います。また、地域移行を進めるのは全国的な流れで、教員の負担軽減といったことから発していると思いますし、また、次の指導者を育てていくといったこともあるだらうと思っています。安城市さんにおかれましては、この土日の地域スポーツの役割が、例えば、平日の中学校部活動の補完的役割みたいなものを示しているのか。それとも、拡充という言い方が適切かわからないですが、地域移行で土日に移すから、より一層スポーツの楽しさといった、先生方が今までやってきたことを地域で担って欲しいという、プラスアルファも考えているのか。どういう方向性であるのか、ということがまず1点目です。

2点目が、このスポーツ教室の指導者で講習会に参加している人が多いということが課題に書かれています。より拡充を目指して講習会をやるというときに、スポーツ教室の指導者と地域スポーツ団体の指導者というのは、どのような違いがあって、何を目指しているのかということをもう一度教えていただけたらと思います。お願いいたします。

- ・スポーツ課

まず、一点目の方向性ですが、あくまでも生涯学習として、スポーツ課としては地域スポーツ団体の発展といいますか、充実を目指しています。その中で、部活動の地域移行という話が出てきましたので、それを受け入れながら、地域のスポーツ団体がより発展していけばいいという考えを持っています。ですので、受入れだけが目的ではない、そもそも生涯学習としてその地域スポーツ団体というのはすごく必要ですよ、大事なんですと。そこを発展、支援して、充実していけばいいなと考えています。

あとは指導者の件ですが、これまでスポーツ協会、各種競技団体のある程度専門性のある人をお願いしてスポーツ教室を開催して、市民の方に参加していただいていたのですが、地域スポーツ団体はあくまでも地域の中で、例えば、保護者が主となってスポーツ団体を立ち上げますよ、子供たちのためにスポーツ団体を作りますよということで出来たスポーツ団体です。そうすると、まだ専門性がない保護者が指導者になっているケースも多いかと思うので、そうした指導者としてはまだ素人であろうという方に、こうした講習会に積極的に参加をいただいて、そのスポーツ指導者としての資質が向上すればいいかなということで参加を促していきたいという考えを持っています。

- ・委員

今のところで追加で質問ですが、いろんな各種団体がやっているようなライセンスの取得といった形だとすると、例えば一種目に限られるとか。地域スポーツは一種目だけやるところもあれば、複数種目もやったりだとか、わかりませんが、各種団体のライセンスでは対応できないところを安城市としてフォローするようなイメージなのでしょうか。なぜその質問かと言いますと、課題のところに、各種競技団体の様々なライセンスも増えてきて受講しやすくなっていると書いてあります。受講しやすくなっているのであれば、そちらを受講してもらおうとか、何かすればいいのかなと。このように安城市独自でやるというと、どんなことが今までフォロー出来て、でもフォロー出来ないところはどう

しているのかといったことが少しとわかりにくいかないと思いました。

- ・スポーツ課

各種目のライセンスが、例えばサッカーだと、そういった仕組みがしっかり整っていますので、そこはおまかせすればいいのかなと思っています。ただ、先ほど申し上げたとおり、まだしっかりと充実していない種目、そういったライセンスという制度がない種目も多くありまして、そういったところでは単純に何も知識のないまま指導しているということもあり得ますので、そうした方を対象に、この指導者養成講習会を積極的に参加いただいて資質の向上に繋げていきたいと考えております。

- ・委員

ありがとうございます。皆様の方はいかがでしょう。委員お願いいたします。

- ・委員

今のお話聞いてお聞きしたいのですが、サッカーについてはそういう指導者の何か仕組みがしっかりしていますという話だったのですが、安城市でやられている項目は、そうしたサッカーで実際に指導、教育されている内容にほぼ沿ったような内容なのでしょうか。

- ・スポーツ課

ライセンスというのは最低限の知識というか、例えばスポーツ体罰、ハラスメントとか、最近本当に暑くなってきていますので、熱中症だとか、暑くなってきたときにどういう対応すればいいかだとか。ライセンスの講習会の内容は、サッカーの技術を教えるということではなく、どのように教えたらいいいかだとか、もし何かあったときにはどうしたらいいかだとかといったものが多いかなと思います。指導の仕方だけではなく、最低限の知識というか、教え方というか、講習会の内容として技術的なこと以外をやっていく必要があるのかなと考えています。

- ・委員

その他はいかがでしょう？

- ・ 委員

私もイメージ湧かないのですが、例えば、中学校に今度上がると、通常であれば、中学校のときは学校、学区のメンバー、安城西中学校のクラブ活動は、その地元のメンバーでやりますよね。あくまでも、学区単位のクラブチームなのか、それを超えてもいいのか。

- ・ スポーツ課

今画面に映し出したものですが、例えば野球だと、部活動としては今安城市内の全学校にあります。ただ、この水色に示したところがクラブチームがあるところですが、例えば、北中学校だと野球クラブはないです。となると、この北中学校の方はどこに行けばいいのかということになると、例えば隣の東山に行ったりだとか、南部に行ったりだとか、南中に行ったりだとか。クラブチームはどこに行ってもいいということになっています。極端なことを言いますと、市外から来る場合もあります。クラブチームはその学内に限らず、自由にやっていただいていますので、学区に囚われず、自由に誰が参加してもいいとはなっています。

- ・ 委員

北中に今野球部はないのでしょうか。

- ・ スポーツ課

野球部はあるのですが野球クラブがない。これはクラブの状況を示した内容になっています。あともう一点、例えばサッカーを事例にすると、今赤く示したところをみますと、西中、北中、安祥でこの3校しかありません。この3校しかないので、ないところについては、近くのクラブチームに行くか、もしくは市内のサッカー教室ですね。今紫色に示したものが安城市で主催している日曜教室というのですが、クラブがないところの子は日曜教室というものに来ていただくということも市では取り組んでいます。

- ・ 委員

すみません、今のこの画面の丸の中の数字っていうのは何でしょうか。

- ・ スポーツ課

これはクラブ数です。

- ・ 委員

だから、例えば1つの中学校区に2つの地域スポーツクラブがあるということですね。皆様はいかがでしょう。

- ・ 委員

今学校の部活動のクラブと2つあるということで、大会をやった場合に、クラブ活動の方の大会があれば、部活に入っている子は出られないということでしょうか。

- ・ スポーツ課

競技によります。2つのチームに登録できないという種目もありますので、そうした場合には、どちらか登録した方のチームからでしか出られないとかいうことにはなります。

- ・ 委員

その場合は学区の外に出て、他のクラブに入るということでしょうか。

- ・ スポーツ課

クラブで活動するか、部活動で活動するかですね。

- ・ 委員

なるほど。僕の個人的な意見で、せっかく教員が土日休みたいからということで、スポーツの面倒を見るのをやめた状況で、先ほど子どもたちの意見も休日ぐらい休みたいという意見があるということですが、愛知県でもいろいろありますが、大会を土日から平日に持っていくようなことは考えているのでしょうか。

- ・ スポーツ課

特にそういったことは聞いておりません。大体大会は土日開催されるということになります。

- ・ 委員

先生は付き添いをしないから、クラブの監督がついていくという。そのうち

移行されていくということですね。

- ・ 委員

残り 5 分となりましたので、評価シートの記入を進めていただきながら質疑をお願いいたします。皆さん質問の方はいかがでしょうか。

- ・ 委員

そもそも先生はやらない、やりたくてもやらないということでしょうか。

- ・ スポーツ課

それは「兼職兼業」といいまして、今後は届出が必要になります。

- ・ 委員

やる人もいるということでしょうか。

- ・ スポーツ課

やる人も中にはいます。

- ・ スポーツ課

引き続き土日も指導をしていいよという方もいますので、教員に対して登録制度を設けまして、やりたい人は登録していただいて、地域スポーツ団体で指導をしていただくことになります。

- ・ 委員

私ももう一つ。安城市内の中学校の平日のクラブ活動、部活に、学区外指導者を入れているところはあるのでしょうか。

- ・ スポーツ課

学区外の指導者ののでしょうか。

- ・ 委員

教員ではなくて、外部からの指導者です。

- ・ スポーツ課

指導者がいるところもあります。

- ・ 委員

そうした講座とか各種団体が定めたものを取得している。そういうのがなければ、こうした講座を受けてもらう形でやっているというわけですね。やっぱり、安心安全に地域クラブを運営するには、この知識を持った指導者の育成が重要ということが今回のポイントでよろしかったでしょうか。ちなみにですが、指導者養成講座は全9回あって結構がハードル高いなと思うのですが、しっかりとした知識を付けてもらいたいけれど、オンライン化するとか双方向にしていくなといったことは今後の課題で検討されているのでしょうか。申し込んだ方は必ず9回出ているのでしょうか、欠席率というのはどうでしょうか。

- ・ スポーツ課

一応3年間掛けてもいいという形になっていますので、例えば今年受け切れなかったのならば翌年だとか、トータル3年間以内に9つ受けていただければ、認定という形です。必ずしもその年度内に受けなくてもいいよという形は取っています。

- ・ 委員

あと、取られる方の年齢層というのは、やっぱり保護者の方が多い。40代、50代とか、3、4、50代の辺りが多い。例えば大学生とかで取られる方というのはどうでしょうか。

- ・ スポーツ課

まだあまりいません。

- ・ 委員

なるほど。学生と話をしていると、教員になりたいという学生は、結構多くが部活動をやりたいていう希望を持っていたりすることが多いです。地元にいる子は、例えば野球だったりとか、リトルリーグみたいなのところに入ったりとか、自分で草野球に入ったりだとかしてその繋がりがあるのですが、地元を離れてきている学生だと、指導者としてゆくゆくはそこに入っていきたいし、やりたい気持ちはあるのだけど、地元を離れてしまうとどう関わっていいかわからないということがすごくあります。ですので、大学生は本当に熱意ある

子も多いので、上手く活用できると地域に根付くということもあるし、いいのかなとも思ったりしました。

それでは、時間となりましたので、質疑応答は以上とさせていただきます。委員の皆様には、評価シート①をまずご記入いただきたいと思います。①の方をご記入いただきまして、事務局の方へご提出をお願いしたいいたします。そして、評価シート②のコメント等も含めて、ご記入いただければと思います。皆様の提出が終わりましたら、先ほど同様に、あの事務局で集計している時間を取りまして、皆様から評価に対してコメントをいただきたいと思います。評価が書けてから結構ですので。評価のコメントをいただきたいと思います。

・委員

ありがとうございます。これについては、効率的に移行していかないといけないということですから、当然しっかりやっていっていただきたいということで、拡充して、指導者に沢山講習していただきたいなと思います。

一つだけ。先ほどありましたが、学校の先生がクラブの指導者を兼ねられる、そういうところは一体で先生が付いてくるのでしょうか、異なると、指導方法も違ったり大会に出たりする人も違ったりすると、なかなか強化が難しいかなという気がしました。

それと、先生たちの休日を作るという当初の目的からすると、その先生が登録すればできるというのがちょっと気になっています。先生たちの休日を作るためにやっているようなことが、登録で解消されるのかなという気がしました。

・委員

私は評価の前に「至急」と付けました。「至急」拡充する。質問もまだまだ実はあるのですが、特に指導者になられる方の資質、ちょっと言葉が悪いですが、その辺のレベル感というか温度というか、そういったものに留意できるような体制作りを今から構築していただきたいなと思います。それによって相当数の学校単位のレベルで濃淡や考え方も変わってくると思いますので、よろしくお願いします。

最後に、現場の指導者の方、もう一つは、それを束ねるといえるのかコントロールしていくのか、事務方的なところがあるのかどうか。その辺も踏まえて、組織作りをしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

・委員

私の場合は先ほど質問ではなかったので、発言を控えさせていただきました。どちらかというと、評価のコメントというよりも、要望に近い話であります。評価については拡充をしてくださいということです。自分自身が、部活というものを学校で経験してきた年代ですので、確かに教職員の負担を軽減を考えると致し方ないのかなと思いつつも、どうしてもこれしかないだろうかという気持ちがあるのが正直なところではあります。特にスポーツを考えますと、試合や大会というのは土日になりますので、その指導者の指導が児童にとっても優先するだろうと。つまり、そちらの活動の方が中心になっていくということになりますと、過渡期というお話ですが。平日の学校での活動は後退していくのは必然なのかなと考えています。ですので、こういった形でというイメージは出来ておりませんが、平日の指導は技術指導ばかりではないと思いますので、ぜひ平日に指導している先生とのコミュニケーションというか連携といった形で、指導が生かせるような仕組みが検討できたらなと希望します。よろしくお願いします。

・委員

私はお話を聞いていて少し心配になったのは、学校の部活で大会に出るチームが減っているというお話があったと思います。そうすると、スポーツに親しむ学生自体の数が減ってきている恐れがあるのかなと感じたところは心配に思います。いずれにしても、こういうスポーツを拡充していくことは、市民の健康を確保する、維持するためにも非常に大事なことだと思います。ですので、こうした指導者を育成するとともに、安城、「健幸」というお話も、生涯学習というお話もありましたし、より健康を確保するためにこうしたスポーツに親しむことを是非奨励していただきたいと思います。よろしくお願いします。

・委員

私も拡充ということで評価をさせていただきました。最近、先ほど少し申し上げましたが、地域クラブを安心安全に運営していくというところでいいですと、やはりこうした講座で知識を付けるということが重要だろうと思っています。また人口減少ということで、スポーツができないという事例が沢山あるというご説明もありましたし、私も甥っ子に聞いてみると、私達の時代には野球部、バスケットボールとかいくつか選べたものが、人数が少ないのでどんどん選べる部活が少なくなっているということで、スポーツを楽しめなくなっているということも本当に実態としてあると思います。そうすると、やはりこの地

域クラブの学区とかを越えたりとかしながらやっていくのは本当に重要だろう
と思っているところです。

指導者をどのように育成していくかということで今いろいろ検討されている
ところだと思います。先ほど申しましたが、大学生であったり、若年者の方達
にも参加しやすいような、講座のあり方も重要なのかなと思いますし、今は安
城市公認ということですが、もしかすると、もう少し地域とか広げてもいいの
かなと。この辺りの三河の地域だけでやっている人もいれば、今後いくつかを
掛け持ちをしてやっている人も出てきたりとか、いろんな方に指導を仰ぎたい
みたいとか色々出てくるとなると、資格を持っているということで、そのまま
いろんなところで活用できる、もう少し広げたりすることの検討も必要なのか
なと思ったところです。私からは以上になります。

それでは、全体的な評価、集計が出てきましたので、結果を発表させていた
だきます。まず「拡充」が4、「要改善」が1という結果でした。その結果、評
価結果は「拡充」という評価結果とさせていただきたいと思います。たくさん
のコメントをいただいたかと思いますが、是非反映していただき、より良い
事業になるように期待をしているところですので、よろしくお願いいたします。

それでは、第2事業目、「部活動（運動部）地域移行と地域スポーツ指導者の
育成」につきましては、以上とさせていただきます。ありがとうございました。